

あ お も り

町村 自治

2023 **10** No.1240

令和5年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町2丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

本会定期総会	2
令和6年度重点施策提案	4
30町村特集紙面 Discover My Aomori 30町村にいらっしやいませ。	8
いまが旬！	10
エッセイ 田舎館村長 鈴木 孝雄 氏	14



弥生を感じて **ドキ**♡土器『土器カレー』 いなかだてむら 田舎館村

垂柳遺跡から出土した、二本線と三角模様が特徴的な土器である「田舎館式土器」。村の弥生文化に関心を持ってもらうため、この田舎館式土器をモチーフにした器を使ったカレーライス「土器カレー」が誕生しました。

村産の古代米である「紫黒米」を混ぜたライスに、程よい辛さのルーを注ぎ、子どもから大人まで楽しめる味となっています。「見ておいしい、食べておいしい」土器カレーは、道の駅いなかだて「弥生の里」にある「レストランジャイゴ」で1日30食限定で販売しています。

本会定期総会を開催



令和4年度決算等を審議した定期総会

本会は8月23日、野辺地町のまかど観光ホテルで第2回定期総会を開催し、令和4年度本会会務報告、収入支出決算などを原案どおり承認、決定した。

定期総会には町村長29人が出席した。はじめに小又会長からあいさつがあり、最近の本会の活動報告として7月21



小又会長があいさつ

日に内閣府ほか関係省庁に対して行った令和6年度重点施策提案活動や小又会長が全国町村会副会長として厚生労働省に対して行った要請活動について触れ、「今後とも直面する様々な課題の解決に向け、本県町村の声を全国に届けていく。一層のご支援・ご協力をお願いする。」と述べた。

引き続き、小又会長が議長となつて議事に入り、令和4年度会務報告や収支決算など議案4件を審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

総会閉会后、県総務部市町村課の星課長から令和5年度特別交付税の見込み、予算編成、マイナンバーカード総点検の3点について説明があった。

総会の議事の概要は次のとおり。

○議案第1号 令和4年度青森県町村会会務報告

①コロナ禍による影響や制約の中においても、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、地方創生の推進や町村財政基盤の確立など、町村が抱える諸課題の解決に向けて、県、全国町村

会及び関係団体との緊密な連携のうえ、積極的に実施した。
②提言・要望に関して、県、市長会と合同で令和5年度重点施策提案について国会議員に説明し、総務省など関係省庁等へ提案書を提出した。また、県政に対する提言書を提出したほか、令和4年8月の大雨災害に係る要望活動を行った。

③政務調査委員会に関して、町村財政の安定等のための負担金等委員会は、法令外44団体の負担金、寄付金等を協議・決定した。

④町村の魅力発信事業の助成に関して、本県町村の魅力をより一層高め全国に発信する必要があること、また、新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、町村が地域の実情に応じて関連する対策事業を実施する必要があることから、(公財)青森県市町村振興協会の助成を受け、町村が実施する事業に対し助成金を交付し支援した。
⑤新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、町村経済活性化のため令和2年度からマイクローリズムの推進に取

り組んでおり、その一環として、県内地元3紙に各町村の魅力を広く伝える特集紙面「Discover My Aomori 私たちの30町村にいらっしやいませ」を掲載した。また、青森県民を対象に県内町村への流動を活性化させるとともに、町村の魅力の再発見を促進するため「30町村にいらっしやいませキャンペーン」を実施した。

⑥町村長の健康管理の一環として、例年どおり総合健診を実施したほか、脳ドック検診を受診した町村長に対して助成金を交付する町村長脳ドック助成制度を実施した。

⑦本会事業運営の基盤である各種共済事業の推進や、自治功労者表彰の実施、各種研修、町村職員採用試験、広報活動などを事業計画に基づいて実施したほか、本会に事務局を置く各団体も含めて、積極的な協力・協調体制で事業を実施した。（事項別概要略）

○議案第2号 令和4年度一般会計決算の概要は、収入済総額2億6205万3111円、支出済総額2億4188万1865円で、差引き20

17万1246円の残額を生じ、このうち財政調整基金規定第二条の定めるところにより、1100万円を基金へ繰り入れ、残額917万1246円を翌年度へ繰り越すものである。

○議案第3号 令和4年度特別会計決算の概要は、収入済総額4961万9421円、支出済総額4485万5205円で、差引利益385万6

516円により純資産829万3390円となり、一般会計に500万円を繰り出すものである。

○議案第4号 令和4年度青森県町村会一般会計補正予算（補正第1号）案Ⅱ収入支出予算の総額に収入支出それぞれ428万9千円を増額し、収入支出予算の総額を収入支出それぞれ2億6187万円とする。

公務に備え 健康チエック 町村長健康管理研修

本会は定期総会に引き続き、町村長健康管理研修を開催した。

研修では、県総合健診センター常務理事・診療所長の下山克氏が「胃がん検診の現状とこれから」と題し、講演した。下山氏は、ピロリ菌除菌が胃がん予防に有効とされていることを説明したうえで、「受診者数を増やして受診率を上げることが目的ではない。住



胃がん検診について講演する下山氏

民が胃がんで死なないことが目的。胃がんリスクがある人を積極的にくり返し受診させる。また、若いうちにピロリ菌の検診・除菌に取り組んでいただければ。」と述べた。

翌24日、町村長は青森市の県総合健診センターで各種検査を受診し、今後の公務に備えた。

定期総会 提案事項 を協議 第2回理事会

本会は定期総会に先立つ8月3日、青森市の県共同ビルで第2回理事会を開催した。出席者は、小又会長をはじめ役員町村長12名。

理事会では、令和4年度本会会務報告、一般会計収支決算の認定など議案5件の審議と、第2回定期総会次第案などについて協議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。会務報告及び収支決算等は、定期総会に提案することとした。

を求めるの件

○議案第4号 令和5年度本一般会計補正予算（補正第1号）案

○議案第5号 顧問の委嘱について同意を求めるの件

協議事項
○協議事項1 令和5年第2回青森県町村会定期総会次第案について

○協議事項2 令和5年度町村長行政調査研修案について

4年度の決算を 認定

生協支部委員会

全国町村職員生活協同組合県支部は、本会理事会終了後、第2回委員会を開催した。

委員会では、同支部の令和4年度収支決算など議案2件を審議し、原案どおり承認、決定した。

議案

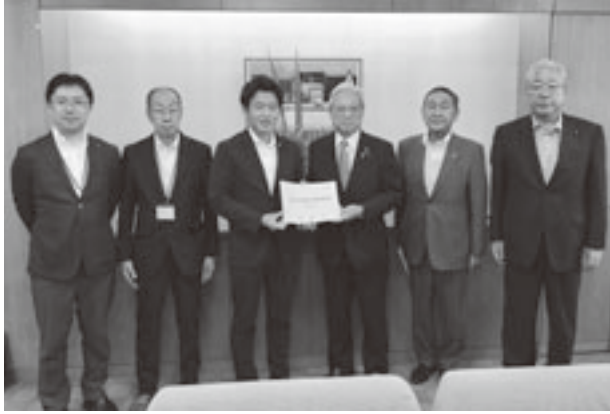
○議案第1号 令和4年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計収入支出決算について認定を求めるの件

○議案第2号 令和5年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計補正予算（補正第1号）案

○議案第1号 令和4年度本会会務報告について同意を求めるの件
○議案第2号 令和4年度本一般会計収入支出決算について同意を求めるの件
○議案第3号 令和4年度本会公有物件共済事業等特別会計収入支出決算について同意

関係省庁等に 重点施策提案活動

令和6年度重点施策提案



羽生田厚生労働副大臣に提案書を提出

明会が当日の大雨に係る災害対応のため中止となったことから、県関係国会議員に3団体の提案書を配布した。本会の提案に関連する対応者の主な発言は次のとおり。

- 町村財政基盤の確立
- ・総務省 内藤事務次官
- 〓財政的に厳しい団体にとつて地方交付税は重要な財源であるので、地方交付税総額の

本会は、県、市長会との3団体合同により7月21日、東京都内で内閣府をはじめ内閣官房、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、自民党本部に対し、令和6年度重点施策の提案活動を行った。

本会からは小又会長が参加し、羽生田厚生労働副大臣、築文部科学副大臣、茂木自民党幹事長ほか関係省庁幹部に面談のうえ、本県町村の実情を強く訴え施策の実現を求めた。

また、7月15日に開催予定であった令和6年度重点施策提案に係る国会議員説

本会重点施策提案項目

1. 町村財政基盤の確立について（3団体共通要望項目）
2. 地方創生の推進について（3団体共通要望項目）
3. 原油価格・物価高騰対策について（3団体共通要望項目）
4. 医療・保健・福祉・子育て支援施策の強力な推進について
 - （1）地域医療の確保・充実について
 - （2）総合的な子育て支援について
 - （3）新型コロナウイルス感染症対策について
5. 農林水産業の振興について
 - （1）農業の振興について
 - （2）林業の振興について
 - （3）水産業の振興について
6. 社会基盤の整備促進について
 - （1）道路の整備等について
 - （2）防災・減災対策等の強化について
 - （3）治水対策について
7. 持続的な地域公共交通の確立について
8. 地域との共生を踏まえた再生可能エネルギーの推進について

適切な確保に取り組んでいく。

- 地域医療の確保・充実
- ・文部科学省 築副大臣
- 〓前大学医学部の定員拡充なども措置しているため、引き続きこれを活用してほしい。医学部医学科定員の地域枠は、少なくとも令和6年度までの増員が決まっている。令和7年については、厚生労働省と連携しながらやっていきたい。
- 社会基盤の整備促進
- ・内閣府 中野大臣政務官
- 〓青森は雪には強いが雨に弱い。強靱化については、中期計画に基づいて、切れ目のない体制づくりを目指して進める。



伊佐厚生労働副大臣（中央）に要望書を提出する本会小又会長（左）

策に関する要望」及び「森林環境譲与税の見直しに関する要望」の実現のため、関係省庁の幹部に対し要請活動を行った。

要請活動は、総務省、厚生労働省、農林水産省に対し3班に分かれて実施し、小又本会会長も全国町村会の副会長として厚生労働省での要請活動に参加し、伊佐厚生労働副大臣、間老健局長、伊原保険局長らに面談のうえ要望書を提出した。

全国町村会は7月6日、「令和6年度政府予算編成及び施策

小又会長が厚労省へ要請活動

全国町村会

地方創生の推進などを要請

北海道東北六県町村会協議会

北海道東北六県町村会協議会（会長＝棚野北海道町村会長）は、7月28日、東京都内で、令和6年度政府予算編成並びに施策に関する要請及び東日本大震災に関する特別要請活動を行った。

要請活動には各道県会長等

が出席（本県からは小又会長が出席）した。当日は、小島復興副大臣、小淵自民党組織運動本部長、内藤総務省事務次官、大沢総務省自治財政局長に提案書を提出し、要望項目の実現を強く求めた。

要請項目は次のとおり。

- 1 地方創生の推進について
- 2 町村自治の確立について
- 3 町村財政基盤の強化について
- 4 マイナンバーカードの安全・安定的な運用について
- 5 防災・減災、国土強靱化対策について
- 6 地域医療の充実について
- 7 少子化社会対策の推進について
- 8 農業・農村対策の推進について

- 9 森林・林業対策の推進について
- 10 水産業対策の推進について
- 11 脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの積極的な活用について
- 12 持続的な鉄道網の確立について（①東北・②北海道）

- 13 新幹線鉄道の建設促進及び並行在来線への財政支援について
- 14 道路網の整備促進及び生活交通路線の維持・確保について
- 15 北方領土の早期返還について



小淵自民党組織運動本部長（中央右）



内藤総務省事務次官（中央右）



大沢総務省自治財政局長（中央左）

効果的な面接試験とは 人物試験評価者講習

本会は県市長会との共催により、6月30日、青森市のホテル青森で人物試験評価者講習を開催した。出席者は市町村の人事担当管理職員等20人。研修会は本会の原田常務理事のあいさつに引き続き、公益財団法人日本人材試験研究センター事務局参与の鈴木利男氏が質問の技法向上や評価

の技法把握を主題として、面接試験の特徴や問題点を確認し、受験生の評価に役立つ有効な情報を得るための留意事項などを説明したほか、映像教材を使用し、問題のある面接官の事例確認や受験生の評定練習を行った。

また、受講生をグループに分けて模擬面接を行った。



町村長選挙結果

藤崎町長

平田 博幸氏

博幸氏



任期満了に伴う藤崎町長選挙は、9月26日、告示され、現職の平田博幸氏（66）が無投票で4選を果たしました。
 〈略歴〉町議会副議長

消防団員公務災害補償等を学ぶ

市町村事務担当者へ説明

本会に事務局を置く県市町村総合事務組合は、9月13日、青森市のウェディングプラザアラスカで、消防補償等実務研修会を開催した。出席者は、市町村の消防事務担当者等39人。

はじめに、本組合の原田事務局長が「消防団員は消火活動や住民の救助活動、避難誘導等その役割は重要となっており、我々は消防団員を支援する立場にある」とあいさつし、引き続き、消防団員等公

務災害補償等共済基金の目貫総務課長が「献身的に活動する消防団員への住民の期待が高まる一方、団員数の減少や高齢化等の課題もある。団員が安心して活動できる環境整備に努める。」とあいさつした。

研修会は、消防基金の中島調査役から自動車等損害見舞金支給事業や公務災害補償関係、また矢部次長から退職報償金制度やシステムについて、それぞれ各事業の制度内容や考え方等について解説があった。

その後、本組合の担当者が、公務災害認定及び退職報償金請求事務に係る留意点等について説明した。

青森県町村長等名簿

令和5年10月2日現在
 町村数30町村(22町8村)

町村	区分	町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24. 7.17	3	R 5.11.14	山田光昭
	今別町	阿部義治	S25. 9.18	2	R 8. 7.23	
	外ヶ浜町	山崎結子	S56. 6.21	2	R 7. 4.23	
	蓬田村	久慈修一	S25. 8. 1	3	R 7.11. 8	小松生佳
西郡	鱒ヶ沢町	平田衛満	S34.11. 1	2	R 7.12.26	加藤隆之
	深浦町	吉田満	S28. 9. 9	4	R 6.12.20	佐藤洋一
中郡	西目屋村	桑田豊昭	S32. 1.11	1	R 7. 2.20	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32. 6. 2	3	R 5.11.19	五十嵐晋
	大鰐町	山田年伸	S27. 3.11	4	R 8. 7.21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12. 2.10	5	R 6.11.17	金枝尚明
北郡	板柳町	葛西健人	S34. 7.18	1	R 9. 4.29	長内伸夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	3	R 8. 8.20	
	中泊町	濱舘豊光	S34.10. 3	2	R 7. 4.23	横野彰吾
上北郡	野辺地町	野村秀雄	S38. 4.15	1	R 5.10.26	江刺家利夫
	七戸町	小又勉	S24. 1. 2	5	R 7. 4.23	高坂信一
	六戸町	吉田豊	S25. 3.28	8	R 6. 1.27	下田正幸
	横浜町	石橋勝大	S16. 9.27	1	R 6.12.11	
	東北町	長久保耕治	S47.11.14	1	R 7. 4.23	沼尾啓吉
	おいらせ町	成田隆衛	S26. 2. 4	3	R 8. 3.25	小向仁生
	六ヶ所村	戸田衛	S22. 1.28	3	R 8. 7. 6	橋本晋
下北郡	大間町	野崎尚文	S30.11.17	1	R 7. 1.18	
	東通村	畑中稔朗	S37. 7.14	1	R 7. 4.12	
	風間浦村	富岡宏	S37. 4.27	2	R 7. 2.18	
	佐井村	太田直樹	S50. 7.14	1	R 8. 4.26	田名部二郎
三戸郡	三戸町	松尾和彦	S38. 5. 9	2	R 6.12.15	馬場浩治
	五戸町	若宮佳一	S41.12.30	2	R 9. 6.26	大久保均
	田子町	山本晴美	S39. 4.10	3	R 6. 1.14	福田博実
	南部町	工藤祐直	S30. 5.22	7	R 8. 2.11	佐々木俊昭
	階上町	荒谷憲輝	S45. 4.24	1	R 7.12.23	澤田充
	新郷村	櫻井雅洋	S27. 5.25	2	R 7. 5.28	横田堅悦



令和5年度全国町村長大会前後の関係団体大会・会議等予定一覧表

月 日	時間	大会・会議等	会 場	主 催 者
10月25日 (水)	12:00	半島振興対策促進大会	全国町村会館	全国半島振興市町村協議会 他
11月2日 (木)	13:00	都市基盤整備事業推進大会	砂防会館 別館	全国街路事業促進協議会 全国土地区画整理事業推進協議会 都市再開発促進協議会 全国連続立体交差事業促進協議会
11月8日 (水)	13:00	安全・安心の道づくりを求める全国大会	砂防会館 別館	全国道路利用者会議 道路整備促進期成同盟会全国協議会 全国高速道路建設協議会 全国街路事業促進協議会
11月9日 (木)	13:30	治水事業促進全国大会	砂防会館 別館	全国治水期成同盟会連合会
11月10日 (金)	13:30	災害復旧促進全国大会	砂防会館 別館	全国防災協会
11月13日 (月)	12:00	全国過疎地域連盟第56回総会	日本教育会館	全国過疎地域連盟
11月13日 (月)	13:00	国保制度改善強化全国大会	砂防会館 別館	国民健康保険中央会
11月13日 (月)	14:00	ダム・発電関係市町村全国協議会理事会	全国町村会館	ダム・発電関係市町村全国協議会
11月14日 (火)	14:30	全国町村会 理事会 (都道府県町村会長会議)	全国町村会館	全国町村会 (総務部)
11月14日 (火)	18:00	県選出国會議員との懇談会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月15日 (水)	12:00	全国町村長大会	NHKホール	全国町村会 (行政部)
11月15日 (水)	15:30	北東北三県町村長中央研修会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月15日 (水)	17:15	北東北三県町村長中央交流会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月15日 (水)	15:00	全国防災・危機管理トップセミナー	三井住友銀行東館 ライジング・スクエア	総務省消防庁国民保護・ 防災部防災課
11月16日 (木)	10:00	水産業振興・漁村活性化推進大会、定期総会	全国町村会館	全国市町村水産業振興対策協議会
11月16日 (木)	10:20	特別講演・全国治水砂防促進大会	砂防会館 別館	全国治水砂防協会
11月16日 (木)	10:30	全国山村振興連盟通常総会	グランドアーク半蔵門	全国山村振興連盟
11月16日 (木)	13:00	全国浄化槽推進市町村協議会通常総会	(公財) 日本環境整備 教育センター	全国浄化槽推進市町村協議会
11月16日 (木)	14:30	全国観光地所在町村協議会理事会、総会	全国町村会館	全国観光地所在町村協議会
11月21日 (火)	10:00	第68回簡易水道整備促進全国大会	砂防会館 別館	全国簡易水道協議会
11月29日 (水)	12:00	第67回長村議会議長全国大会	NHKホール	全国長村議会議長会

やいませ。



おおままち 大間町

本州最北端 マグロ一本釣り!の町、大間へ!

野崎 尚文町長

大間崎と井天島
本州最北端「大間崎」海を挟んで600mにわたる井天島が浮かび、晴れた日には北海道道庁庁舎を望むことが出来ます。

おこっぺもじゅく
シロキヤキ食感と、心地よい酸味が特徴。つるつるの食感と、食がかりの良さを活かして、水産加工品に活用し、新鮮な状態で加工・冷凍されています。

大間町役場 ☎0175-37-2111 ☎039-4692 下北郡大間町大字大間字戸下道20-4

かざまうらむら 風間浦村

本州最北端の村、風間浦村にぜひお越し下さい

富岡 宏村長

森田温泉まんぷく
施設の露天風呂から津軽海峡を望んで、北海道が一望でき、津軽海峡は朝焼けを眺めながら入浴できるかも。

下風呂温泉 海峡の湯
海辺に深く湧き出るとして温泉ファンに長年知られた大湯と新湯を合した、天然温泉にも驚かされたかきょうの湯と2つの温泉を楽しめます。

風間浦村役場 ☎0175-35-2111 ☎039-4502 下北郡風間浦村大字風間字大川目28-5

さいむら 佐井村

赤十字の旗 ひるがえる里

太田 直樹村長

クラフトビール「朝風」と 違う!にいくらの麻糬
「朝風」は、二道が併用される早朝の種やかなをブレンドして作られたクラフトビールです。是非、早稲とにいくらの麻糬と共に召喚ください。

仙ヶ浦
海の産物群は、緑豊かな緑色海岸線が、海風や雨風の影響で少しずつ浸食されたもので、神楽と山車と道徳行列を船内、村内で行われます。

佐井村役場 ☎0175-38-2111 ☎039-4711 下北郡佐井村大字佐井字種森20

ひがしどおりむら 東通村

貴重な自然と歴史が彩る 絶景と恵みの食が! 畑中 稔朗村長

尻屋崎灯台
全国に珍しいお花畑の灯台。本館棟裏手にあり、シラカバの道で日本一高い約33メートル、上まで登って360度の絶景を堪能してください。

塩水生牛
全日本で唯一の塩水牛。オムレツやステーキなど、お肉の旨みを生かして仕上げました。無添加で、上質な肉質と旨みを生かしたステーキを味わってください。

東通村役場 ☎0175-27-2111 ☎039-4292 下北郡東通村大字砂子又字沢内5-34

よこはままち 横浜町

山海の恵みあふれる 菜の花の町 横浜です

石橋 勝大町長

道の駅よこはま 菜の花プラザ
下北郡の中心として、多くの観光客が訪れる道の駅「菜の花プラザ」は、道の駅としての役割に加え、観光客の誘致にも努めています。

621(むつわん)野営場
VOCカンパニーがタケノコとした野営場。ロケーションが良く、目の前に広がる美しい海を望むことができます。野営場が広がる風景も素晴らしいです。

横浜町役場 ☎0175-78-2111 ☎039-4145 上北郡横浜町字寺下35

ろっかしまむら 六ヶ所村

躍進・発展の道を 村民と共に歩む 戸田 衛村長

ぼんたん山
六ヶ所村の中心地にある「ぼんたん山」の頂上からは、太平洋や津軽海峡、日本一高い約33メートル、上まで登って360度の絶景を堪能してください。

特産品販売所「六ヶ所」
毎月様々な特産品を販売する「六ヶ所」の特産品販売所は、地元産品の販売だけでなく、観光客の誘致にも努めています。

六ヶ所村役場 ☎0175-72-2111 ☎039-3212 上北郡六ヶ所村大字尾崎字野附475

のへしまち 野辺地町

海あり山あり 楽しいまち 野村 秀雄町長

旧林家住宅離れ (行住所)
本町を創成した旧林家野村家の別荘。昭和初期建築の洋館の雰囲気を残し、観光客の誘致にも努めています。

楽海地区健康 レクリエーション施設
海と山をテーマにした健康施設。レクリエーション施設として、観光客の誘致にも努めています。

野辺地町役場 ☎0175-64-2111 ☎039-3131 上北郡野辺地町字野辺地123-1

とうほくまち 東北町

緑の大地と小川原湖に彩られた いちの輝くいで湯のさと 長久保 耕治町長

小川原湖公園
湖水浴やサマシの採取が出来、クワガタやクワガタの観察も楽しめる。自然豊かな環境が、観光客の誘致にも努めています。

道の駅「あけぼの」
新鮮な地産品を販売する道の駅。観光客の誘致にも努めています。

東北町役場 ☎0176-56-3111 ☎039-2492 上北郡東北町上北四丁目32-484

しちのへまち 七戸町

住んでいる人も訪れる人も 心の豊かさを堪能できる七戸町 小又 勉町長

第八甲田家族旅行村
本町の中心地である八甲田。観光客の誘致にも努めています。

ツツ森農場
新鮮な地産品を販売する農場。観光客の誘致にも努めています。

七戸町役場 ☎0176-68-2111 ☎039-2792 上北郡七戸町字森ノ上131-4

ろくのへまち 六戸町

やすらぎと感動の 定住拠点です! 吉田 豊町長

道の駅ろくのへ
新鮮な地産品を販売する道の駅。観光客の誘致にも努めています。

六戸駅まつり
毎年6月の中旬に開催される六戸駅まつり。観光客の誘致にも努めています。

六戸町役場 ☎0176-55-3111 ☎039-2392 上北郡六戸町大字大落字前谷地60

ちよう おいらせ町

自然豊かなおいらせ町! 思う存分ご堪能ください! 成田 隆町長

日本の自由の女神像
ニューヨークの自由の女神像が、おいらせ町に複製されています。観光客の誘致にも努めています。

おいらせ石まつり
毎年6月の中旬に開催されるおいらせ石まつり。観光客の誘致にも努めています。

おいらせ町役場 ☎0178-56-2111 ☎039-2192 上北郡おいらせ町中下田135-2

しんこうむら 新郷村

歴史とロマンの里、パワースポットにふれる新郷村 櫻井 雅洋村長

キリストの墓
6月の第一日曜日に、「キリストの墓」として、多くの観光客が訪れる。歴史とロマンの里、パワースポットにふれる新郷村。

道の駅内「標識」
新鮮な地産品を販売する道の駅。観光客の誘致にも努めています。

新郷村役場 ☎0178-78-2111 ☎039-1801 三戸郡新郷村大字戸栗字品前10

このへまち 五戸町

馬・牛・鶏 このへ三大肉のハーモニー 若宮 佳一町長

ARフォトラリー
AR技術を活用したフォトラリー。観光客の誘致にも努めています。

DC351ディーゼル機関車
歴史的なディーゼル機関車。観光客の誘致にも努めています。

五戸町役場 ☎0178-62-2111 ☎039-1513 三戸郡五戸町字古館21-1

なんぶちよう 南部町

達者に暮らす 笑顔あふれるまち 工藤 祐直町長

名川チリリン村 ツレハリス
チリリン村のチリリン。観光客の誘致にも努めています。

あおもり自慢
あomorの自慢。観光客の誘致にも努めています。

南部町役場 ☎0178-76-2111 ☎039-0592 三戸郡南部町大字宇田字広場28-1

たっこまち 田子町

みどり豊かな美しい町 にくにくの田子町です 山本 晴美町長

みろくの滝
美しい自然環境を堪能できるみろくの滝。観光客の誘致にも努めています。

田子ガリンクステキごはん
新鮮な地産品を使った田子ガリンクステキごはん。観光客の誘致にも努めています。

田子町役場 ☎0179-32-3111 ☎039-0292 三戸郡田子町大字田子字天神堂平81

さんのへまち 三戸町

馬場のほろのふるさと 歴史と11びきのねこの町 松尾 和彦町長

11びきのねこワールド
11匹のねこをテーマにしたワールド。観光客の誘致にも努めています。

三戸高校クリエイティブ
三戸高校のクリエイティブ。観光客の誘致にも努めています。

三戸町役場 ☎0179-20-1111 ☎039-0198 三戸郡三戸町大字在府小路町43

はしかみちよう 階上町

海・里・山がそろう 魅力ある階上町 荒谷 憲輝町長

巨大の橋はしかみ
巨大な橋はしかみ。観光客の誘致にも努めています。

はしかみハマの駅
はしかみハマの駅。観光客の誘致にも努めています。

階上町役場 ☎0178-88-2111 ☎039-1101 三戸郡階上町大字道弘字天平1-87



問い合わせ先 外ヶ浜町教育委員会
社会教育課 世界遺産対策室
TEL 0174-31-1236

令和3年7月27日に大平山元遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されました。

大平山元遺跡は、北東アジア最古級の土器が見つかっており、縄文時代の幕明けを示す遺跡です。土器の使用は、定住生活のはじまりであり、そのころの様子がわかります。

新着情報等については、大平山元遺跡のマスコットキャラクターである「むーもん」がX(旧Twitter)にて情報発信をしています。

世界文化遺産！大平山元遺跡にきてほしいもん！

いまが旬!
そこがほめまわす
外ヶ浜町
東津軽郡



問い合わせ先 道の駅津軽白神 ピーチにしめや
TEL 0172-85-5855

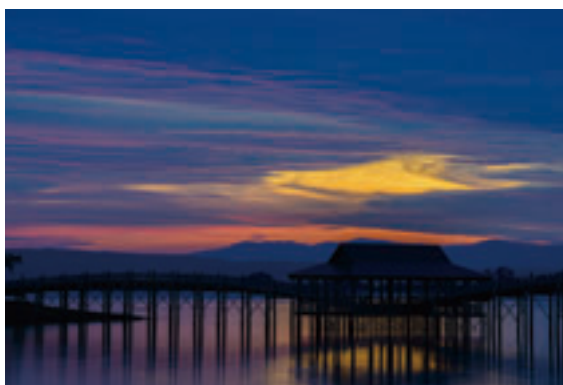
「白神クマカレー」と「白神クマ丼」の2種類をレトルトで販売中。どちらも、西目屋村で捕獲したクマの肉を使用しています。

味付けは、クマ肉独特の力強い旨味を活かすよう調整されており、カレーには数種類の香辛料と地元産のりんごジュースをブレンドし、クマ肉とカレーをバランスよく味わうことができます。

ジビエ初心者の方も是非お試しください。

白神ジビエシリーズ

いまが旬!
にしめやむら
西目屋村
中津軽郡



問い合わせ先 鶴田町役場 企画観光課
TEL 0173-22-2111

平成6年に完成して以来、鶴田町と共に歩んできた鶴の舞橋ですが、令和5年9月1日から令和6年3月31日まで改修工事に入りました。当面の間は通行できなくなりますが、工事期間中でしか味わえない景色をお楽しみください。

近くには売店や宿泊施設もございますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

鶴の舞橋

いまが旬!
つるたまち
鶴田町
北津軽郡



問い合わせ先 東北町役場 農林水産課
TEL 0176-56-4384

東北町生き活き産業文化まつりが11月4日、5日の両日、東北会場（北総合運動公園）と上北会場（町民体育館周辺）の2会場で開催されます。東北会場ではオープニングセレモニーや野菜即売会を、上北会場では健康まつりや文化まつり、しじみや黒毛和牛の即売会など、味覚と芸術を楽しむことができます。皆様のご来場をお待ちしております。

秋の収穫と芸術が集う東北町生き活き産業文化まつり

いまが旬!
とじほくまち
東北町
上北郡

いまが旬!

六ヶ所村

上北郡

ろくがしよむら

大和いも×長芋||新品種のやまのいも『ネバリスター』

10月頃から旬となるネバリスターは長芋の2倍以上も粘りが強く甘みもあり、クセもなく、滑らかな舌触りとなっています。

粘りが強いことから、熱を加えた料理にも適しており、これからの季節はお鍋にいれても、ホクホクとした食感で旨みが増し、とても美味しくいただけます。

特産品販売所「六旬館」にて販売しておりますので、今年の秋冬にぜひご賞味ください。

〈六旬館営業時間〉

営業時間：午前9時～午後6時

定休日：12月30日・31日



問い合わせ先 六ヶ所村特産品販売所「六旬館」
TEL 0175-71-3115

いまが旬!

佐井村

下北郡

さいむら

佐井産クラフトビール「朝風」と塩うに・いくら瓶詰!!

佐井村の地が育んだ生ホップをふんだんに使用した「朝風」は、ウニ漁が行われる早朝の穏やかな風をイメージして作られたピルスナービールです。芳醇で爽やかな喉ごしが特徴の「朝風」は、輝かしい黄金色な色味である為、視覚でも楽しむことができる逸品です。是非、塩うに・いくら瓶詰と共にご賞味ください。



問い合わせ先 佐井村役場 総合戦略課
TEL 0175-38-2111

いまが旬!

階上町

三戸郡

はしかみちよう

風味豊かな新そばを提供します! 階上早生階上そば

香りが高く強い粘りが特徴の『階上早生階上そば』。2018年に生誕100年を迎えた県内唯一の奨励品種「階上早生」は寒さに強く、ヤマセの影響で冷涼な階上の大地にも根付き、凶作や飢饉から多くの人を救ってきました。

栽培から調理まで一貫してこだわった風味豊かな新そばは、10月中頃から町内の観光施設で味わうことができます。



問い合わせ先 階上町役場 産業振興課農林グループ
TEL 0178-88-2946

●お知らせとお願い

「あおり町村自治」は、会務活動状況及び災害共済諸事業の啓発事項、県市町村総合事務組合及び内部団体の活動状況のほか、町村長の紹介及び各町村の特集記事等を掲載し、3カ月に1回季刊発行しています。

本ページの「町村トピックス いまが旬!」は、各町村の時期、季節の旬の情報をPRするコーナーで、イベント、観光スポット、施設、特産品、町の話題・出来事などが満載!

各町村で、本紙への掲載希望事項等がありましたらご連絡ください。また、表紙写真や関連記事等掲載依頼の際は、ご協力をよろしくお願いいたします。

お詫びと訂正：本紙令和5年7月号「いまが旬!」の内容に一部誤りがありました。お詫びして次のように訂正いたします。

[正] 三戸町立歴史民俗資料館 [誤] 三戸町立歴史民族資料館

全国町村会 災害対策費用保険制度加入のご案内

住民の生命を守るため、ぜひ「災害対策費用保険制度」にご加入ください!!

「災害対策費用保険制度」 加入のポイント

- ・ これまでに経験がない
- ・ 対応費用が負担になる
- ・ 住民の命を守る責任
- ・ 避難指示等を発令 する? しない?
- ・ 空振りになるかも…



空振りでも発令していれば保険の対象*
 ※災害救助法第2条第1項の適用を受けた災害を除く
それなら迷わず、早めに発令しておこう!
「もしもの時は保険」の安心感



利用町村A
 住民の生命及び身体を保護するため、迅速かつ適切に避難指示等を発令できる。避難所設置費用などの財政負担を軽減できる。



利用町村B
 災害対応職員の動員を躊躇なく増員することができ、財政負担の軽減や説明が容易にできる。
 避難指示等の発令の後押しになり、対応の迅速化につながっている。

令和6年度から保険料が大幅に値下がりとなります。
 募集期間：令和6年3月上旬～4月上旬

基本補償	プランA	プランB	プランC
年間支払限度額	2,000万円	1,500万円	500万円
1事故支払限度額	500万円	300万円	100万円
支払割合	避難指示100%・高齢者等避難50%		

保険料率・保険料 例 人口10,000人でプランCに加入する場合…

		プランA	プランB	プランC
現在の保険料率	固定	1,230,000円	830,000円	510,000円
	変動	+住民数×23円	+住民数×18円	+住民数×10円

510,000円+10,000人×10円=保険料 **改訂前 610,000円**

		プランA	プランB	プランC
改定後の保険料率	固定	427,220円	349,410円	197,740円
	変動	+住民数×35円	+住民数×28円	+住民数×16円

※地震・噴火・津波オプションの保険料率の改定はありません。

197,740円+10,000人×16円=保険料 改訂後 357,740円

令和5年10月より募集開始

生命 医療 収入補償 保険のご案内

全国町村会は、町村等職員の厚生に資することを目的として、生命保険会社と団体契約を結び、「任意生命保険」、「任意医療保険」、「任意収入補償保険」を実施しております。ぜひ、この機会にご加入をご検討ください。

『町村等職員だからこそ』受けられるメリットがあります

任意生命保険・任意医療保険・任意収入補償保険（共通）

○団体割引による低廉な保険料

「任意生命保険」申込保険金額1,000万円当たりの負担額（例）

		月払掛金	実質負担金額
男性	22歳	1,200円	1,049円
	30歳	1,200円	1,049円
	36歳	1,430円	1,250円
	41歳	1,790円	1,565円
女性	22歳	810円	708円
	30歳	810円	708円
	36歳	1,150円	1,005円
	41歳	1,350円	1,180円

（※）月払掛金に直近3年間の平均配当還元率約12.6%を加味した概算金額です

任意生命保険・任意医療保険

- 新型コロナウイルス感染症に対応
- 付帯サービス「N-コンシェルジュ」の魅力

任意生命保険

- 最低保険金額200万円から加入可能
- ご加入キャンペーン特典

任意収入補償保険

- ケガや病気で働けなくなった場合の収入を最大65歳まで長期に補償
- 精神障害も最長24カ月補償

保障（補償）内容ご案内ムービー【各5分】

生命



医療



収入補償



制度内容・お申込み手続きに関するお問合せ先

生命 医療 0120-375-696 日本生命
収入保障 0120-500-826 あいおいニッセイ同和損保

※お問合せの際には、団体名「全国町村会」をお知らせください
〈受付時間〉月～金曜日（祝日を除く）9：00～17：00

地域の心を育む

「田舎館いいね」

田舎館村は、津軽平野の南側に位置し、面積が22・35㎦と県内最下位の小さな村であります。八甲田山系を水源とする浅瀬石川に潤された肥沃な土壌に恵まれ、見渡す限りの田園風景が続く農業を中心に栄えてきた村であります。

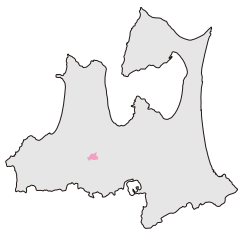
村には、弥生時代中期の水田跡が発見された垂柳遺跡があり、遺跡を露出展示している埋蔵文化財センターは、見学者が大人から子供まで数多くの足跡が残る水田跡の実物に足を踏み入れながら、弥生人が耕作した水田に直接触れ、古代ロマンを肌で感じる貴重な体験ができる施設であります。

弥生時代から続く稲作文化は、古代米と食用米を使って水田に図柄を描く「田んぼアート」を生み出し、今や全国100カ所を超える地域で実施されるまでに成長しており、田んぼアートは地域農業に対する関心の高まりと、観光拠点の創出による地域産業

の活性化に大きく貢献しているものであります。今年7月「2023全国田んぼアートサミット in いなかだて」を開催したところ、田んぼアートを実施している俳優の永島敏行さんをはじめ23団体、北海道旭川市から南は鹿児島県南九州市まで160人を超える仲間が集まり、それぞれが持ち寄ったテーマについて、情報交換や意見交換をしながら充実した交流を図ることができましたこと、また、ご後



2023全国田んぼアートサミット in いなかだて



田舎館村長

すずき こうゆう
鈴木 孝雄



津軽平野の南側に位置し、弥生時代中期の水田跡によって、稲作の歴史で貴重な発見となった垂柳遺跡(国史跡)をはじめ、反収日本一を何度も記録している米どころ。

援をいただいた平川市、黒石市、藤崎町さんにも心から感謝を申し上げる次第であります。

村には、全校生徒数185名の田舎館中学校があります。部員22名のサッカー部が、中体連東北大会で準優勝の好成績を残し、香川県高松市で開催された全国中学校体育大会に出場することができました。応援のため山形県総合運動公園で行われた東北大会に駆け付けた私は、真夏の暑いグラウンドをチーム一丸となって献身的に走り続け、なだれ込むように相手ゴールへ向かう生徒たちの姿に、過去に全中出場したチームにはない勢いを感じ、普段はとも素直でおとなしい生徒たちの変貌に、うれしい驚きの連続で興奮がさめやらないものであります。全国大会では1回戦で負けてしまいましたが、私立やマンモス校が名を連ねる大会において、唯一の村立中学校として堂々とした試合をし、村民に夢と感動を与えてくれた生徒たちを誇りに思っております。

村では、教師が生徒の良いところを認める「館中いいね」活動がきっかけとなり、それが波及して生徒、児童が互いに褒め合い、互いを認め合う人間関係が構築され、子供た

ちの心の安定に繋がっております。



田舎館中学校サッカー部／村長表敬訪問

コロナ禍で失われた、地域における近所付き合いを取り戻すため、社会教育活動は重要な位置付けであり、希薄化した地域活動を復活させるためには、この互いが互いを褒め合い、互いを認め合いながら、人と人との絆を取り戻すことが最も急務で必要な取り組みであると感じております。これからは子供たちができた「いいね」を大人たちもいっしょになって、村をあげて取り組んで参りたいと思っております。